

ヴァレリー・オクロフ  
会長 兼 最高経営責任者

1952年4月22日、キーロフ市にて生を受けたヴァレリー・オクロフ氏は、  
1975年、エンジニア操縦士として、レニングラード(サント・ペテルスブルグ)民間航空学校を卒業しました。

1975年から85年にかけて、オクロフ氏は、ウラルのスペルドロフスク共同航空チームでAn-24、An-  
12そしてツポレフ154航空機のパイロット操縦士として勤務しています。

1985年から96年、オクロフ氏はモスクワの国際飛行中央省(エアロフロート・インターナショナル)で、ツポレフ154、イリュ  
イシン86、An-  
125航空機の操縦士として活動した後、エアロフロート・トレーニングセンターで操縦士インストラクターとして勤務しま  
す。

1996年7月18日、彼はエアロフロート第一副社長に任命されました。そして1997年5月30日にはエアロフロート・ロシ  
ア航空の会長兼最高経営責任者(社長)に就任したのです。

ロシア連邦国家民間航空サービス会会員

IATA最高執行委員会委員      ロシア実業家・企業家連盟役員

既婚人の子供に恵まれている。趣味 — 読書、山岳スキー、カヌー